

NO.
185

共創ネットワーク

●発行日：2017年12月16日（土）

〒661-0035 兵庫県尼崎市武庫之荘3-19-3 TEL 06-4962-5876 FAX 06-4962-5877 e-mail info@gakurin.co.jp

発行：教材出版 学林舎

学林舎情報

◎年末年始営業のご案内

誠に勝手ながら、弊社の年末年始の営業は、年内の営業が12月27日(水)までです。年始の営業が1月5日(金)からとさせていただきますことご了解ください。

12月27日(水)午後2時以降のご注文に関しては、1月5日(金)発送とさせていただきます。

皆様にはご迷惑をお掛けしますが、何卒ご容赦願います。

学林舎 北岡 韶



学習の行き先

「国語に関する世論調査」から 何が見える

平成29年9月、16歳以上の男女を対象とした「国語に関する世論調査」の結果が発表されました。これは、文化庁が平成7年度から毎年実施している、日本人の国語に関する意識や理解の現状を調べたものです。平成29年度に行われた調査の中から、いくつかの項目に焦点を当てて考察していきます。

○相手や場面を認識し、 説明する能力が求められている

「これからの時代、特に必要だと思う言葉に関わる知識や能力は何か」という問い合わせに対して、上位3項目は、「説明したり発表したりする能力」20.7%、「相手や場面を認識する能力」18.9%、「論理的に考える能力」10.7%という順になっています。平成14年度の調査に比べると、それぞれ、3.0、11.5、2.8ポイント増加しています。一方、「漢字や仮名遣い等の文字や表記の知識」は6.1ポイント減少の3.4%、「語句や慣用句等の知識」は1.4ポイント減少の1.2%にとどまりました。この結果から、「書き言葉」より「話し言葉」が重要視されているということが分かります。これは、「初対面の相手に対し

て、依頼する方法は何か」という問い合わせに対して、「電話で会う約束をした上で、会って依頼する」という方法が74.0%という高い数値を示していることからも、うなづけると思います。

さらに、「相手との伝え合いにおいて、(a)言葉に表して伝え合うこと、(b)察し合って心を通わせることのどちらを重視しているか」という問い合わせに対して、(a)と回答した人が、平成20年度の調査より11.8ポイント増加して50.1%、(b)と回答した人が、3.3ポイント減少して30.3%、(a)・(b)どちらでもなく、「相手や付き合いの種類によって異なるので、一概には言えない」と回答した人が、9.7ポイント減少して16.3%という結果になりました。「察し合って心を通わせる」場面は日常的に見られるもので、親しい間柄において言葉を発さずに気持ちを通わせる場合や、場の空気を読んで交流する場合などがあります。しかし、近年では、相手の立場や気持ちを互いに推しはかることで衝突を避けるよりも、言葉で自分の考えや思いを正確に説明することで誤解を防ぐことが重視され、その能力が求められていると考えられます。

○「炎上」については、大多数が批判的

今年度の調査において特筆すべき点は、インターネット上で非難や中傷が大量に届く、いわゆる「炎上」が取り上げられていることです。昨今世の中を騒がせている事柄でもあり、結果が注目されますが、「いわゆる『炎上』を目撃した際に書き込みや拡散をするか」という問い合わせに対して、「大体すると思う」と「たまにすると

思う」を合わせた「すると思う(計)」は2.8%、「いわゆる『炎上』という現象を好ましいと思うか」という問に対して、「好ましい」と「どちらかと言えば好ましい」を合わせた「好ましい(計)」は5.0%と、いずれも低い数値です。のことから、大多数の人は「炎上」に対して批判的であることが分かります。ただし、年齢別で見ると、20代では前者の問に「すると思う(計)」と回答した人が10.7%、後者の問に「好ましい(計)」と回答した人が13.1%と、ほかの年代に比べて高い数値になっています。これは、書き込みをする人は20代に多いという傍証になると思います。

○言葉は変化する

昨年度の調査では、「見れる・出れる」という、いわゆる「ら抜き言葉」の表現を使う人が、「見られる・出られる」という表現を使う人を上回ったということで注目されました。今年度は、「あとで後悔」「一番最後」「従来から」「まだ未提出」などの「重複表現」について調査しています。この中では、「従来から」「まだ未提出」が「気にならない」が「気になる」を上回っています。特に「従来から」は、「気にならない」が71.7%と高い数値を示しています(ただし、平成17年度の調査より2.7ポイント減少)。また、新しい表現では、「目が点になる」「心が折れる」という言葉を使うことがあるとの回答が、それぞれ46.4%、43.3%となっています。年齢別では、前者は50代が最も高く69.9%、後者は20代の76.2%が最も高い数値です。いずれにしても、新しく生まれた表現が世間で徐々に定着しつつあるということが分かります。

GAKURINSHA NEWS



成長する思考力GTシリーズ
読解力特化の教材の最も特徴的なことは、同じ文章を二度読むことです。「トライ1～トライ3」で短めの文章を読み、「トライ1～トライ3」すべてをまとめた長文をもとに、「文章の読解・要約演習」を行います。この教材を使い、一人でも多くの子どもが「読むこと」「書くこと」に対する苦手意識をなくしてくれることを望みます。

中学生対象
本体各849円+税

教育の行き先

スーパーグローバルハイスクールについて

文部科学省では、国際的に活躍できるグローバル・リーダーの育成を図る「スーパーグローバルハイスクール(SGH)」事業を開始しました。今回は、スーパーグローバルハイスクールの今後の推移と目標、目的を解説、分析します。

○スーパーグローバルハイスクールの概要

スーパーグローバルハイスクール(以下、SGH)とは、急速にグローバル化が加速する現状を踏まえ、社会課題に対する関心と深い教養に加え、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的素養を身に付け、将来、国際的に活躍できるグローバル・リーダーを高等学校段階から育成することを目的として、文部科学省が推進する事業です。

SGHの各指定校は目指す人物像を設定し、その実現のため、国際化を進める大学や企業、国際機関との連携を図ります。こうした連携によって、グローバルな社会課題を発見、解決できる人材や、グローバルなビジネスで活躍できる人材の育成に取り組むための体制の整備を進めています。最終的に文部科学省が目指す人材の具体例として、国際機関職員やグローバル企業の経営者、政治家などが挙げられています。

SGHの指定校は、構想調書などを提出して、教育活動の実績を踏まえた計画の実現性、発展性、継続性の評価により審査され選ばれます。つまり、指定校に選ばれる学校は、すでに社会のグローバル化を意識して活動してきた学校なのです。また、各学校が目指す人物像は、その地域や学校の特性を活かしたもののが設定されています。

○スーパーグローバルハイスクールの成果と今後

指定校の主な取り組みとして、グループワークやディスカッションの実施、海外研修などがあり、その成果を見るものとするために、定期的に活動報告が行われています。

また、指定校の活動の成果を評価するものとして、外部の有識者による各指定校の中間評価が行われ、半分以上の学校が、ねらいの達成がおおむね可能だと判断されています。指定校の中には、SGH 指定校であると同時に教育委員会の研究協力校にもなり、周りの学校への広がりを計画しているところもあります。

しかし逆に、課題として次のようなことが挙げられています。

- ・成果が少数の生徒に限定されている。
- ・学校全体としての組織的な指導が難しい。
- ・教師間の意識の統一を図ることが難しい。
- ・生徒の関心を高めることが難しい。

このような課題の解決には、各学校の校長がリーダーシップを発揮して、教師が共通の意識を持った上で活動していくことが求められています。今後、各学校の特色を活かしつつ成果を上げていき、SGH の目標であるグローバル・リーダーの育成を実現するためには、この中間評価を活かし、ほかの学校と連携していくことも必要になってきます。

SGH の指定期間は 5 年間であり、その後は国からの支援が終わってしまいます。その中で、今後、事業成功の鍵となるのは、国の支援終了後も継続的な取り組みを行っていけるかにかかっているといえます。

GAKURINSHA NEWS



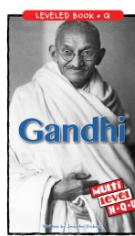
Gandhi and Muhammad Ali Jinnah, an important Muslim leader
Gandhi begins

The streets and treatment of Indians caused anger throughout the world. In 1945, British and Indian leaders began to discuss the final independence.



Muslims leaving one's own native home
The agreement that ended British rule was signed in 1947. The country was split against religious lines, creating India and the new country of Pakistan. More than ten million people moved from one country to another. The partition of India was a terrible event that led to many deaths. Gandhi worked tirelessly and achieved a number of temporary peace agreements. No one else was able to do this in the same time.

Fasting



LEVELLED Book + CD
Gandhi
WITH LEVEL WORDS

月額2,547円で児童、生徒、最大36人が使えます。

*1年間のライセンス契約です。

10日間の無料トライアルでお試し下さい。

教育の行き先

英語教育どうかわる？

2020 年度に改訂される小学校の学習指導要領を受けて、小学校 3・4 年生で「外国語活動」が導入、5・6 年生での「外国語」が教科化されます。今回の改訂の背景に、児童・生徒の英語の習得レベルとして、どのような目標が設定されているのでしょうか。

○4 技能(「聞く」「話す」「読む」「書く」)における目標設定

文部科学省は「英語教育改革実施計画」で、小学校・中学校・高等学校を通じて、聞き取り、分量の多い長文の読み取り、速読、作文、発表、討論などの言語活動の内容や量が十分でないことを課題としています。各段階で、下記のような目標が設定されています。

〈小学校〉

・小学校中学年(3・4 年生) :

英語を用いた活動を通してコミュニケーションを図る楽しさを体験し、コミュニケーション能力の素地を養う。

・小学校高学年(5・6 年生) :

読むことや書くことも含めた、初步的な英語を運用できる力を養う。

〈中学校〉

短い新聞記事やテレビニュースなどで扱われる身近な事柄を中心に、その概要を伝えることができる力を養う。

〈高等学校〉

ある程度の長さの新聞記事などを速読して必要な情報を取り出したり、時事問題について発表したりするなど、情報や考えを的確に理解し、伝えることができる力を養う。

○英検、TOEFL iBT、CEFRによる目標設定

4技能における目標のほかに、英検やTOEFL iBTなどの検定試験を基準とした目標も設定されています。それに加えて、CEFR(ヨーロッパ言語共通参考枠)という基準も目標として掲げられています。これは外国語の熟達度を測る共通のものさしとして、主に欧州で使用されている6段階に分けられた基準で、具体的な英語の習得レベルを測るものとして、日本の英語教育の目標にも組み込まれています。

<中学校>

英検3級～準2級程度、CEFR A1～A2程度

<高等学校>

英検2級～準1級程度、TOEFL iBT 57点程度以上、CEFR B1～B2程度

※CEFR A1～A2レベルは「基礎段階の言語使用者」、B1～B2レベルは「自立した言語使用者」、C1～C2レベルは「熟達した言語使用者」を表します。

このように、小学校・中学校・高等学校を通じて一貫した学習到達目標を設定することにより、各段階を通じて英語教育を充実させ、児童・生徒の個々の英語力を向上させることを目指しています。また、都道府県ごとに目標を設定し、随時結果を公表していくことで、それぞれの地域の英語教育を改善していくねらいです。さらに、2020年の東京オリンピック・パラリンピックを見据え、日本人としてのアイデンティティに関する教育も充実させ、日本文化の発信や国際交流ができるような人材育成を目指してもいます。

(文／学林舎編集部)





● 体罰問題

5年前の12月23日に大阪・桜宮高校の生徒が、部活の顧問による体罰により自殺をした事件以降、スポーツの指導や教育の現場での体罰を改める動きが高まりました。しかし、まだまだ日本のスポーツ界や教育の現場、そして家庭での躾で体罰は根深く残っています。先月に発覚した大相撲・横綱日馬富士による暴力事件も、後輩力士への躾という位置づけによる暴力でした。今年は高校スポーツでも暴力による体罰が多く起こっており、体罰を無くす取り組みが進んでいないことが改めて浮き彫りになりました。

昨年12月には高校の相撲部顧問による体罰が発覚、朝日新聞でスポーツと暴力についての記事が掲載されたことを受け、今年最初の“Cross Road 第65回”でもスポーツと暴力をテーマにしました。年の最初に取り上げたスポーツと暴力問題は、12か月たった年末にまたこのテーマを取り上げなければいけないのは、とても心が痛みます。

スポーツにはスポーツmanshipという、スポーツに関わるものが共有していく大きな行動指針・心構えがあります。私は色々な機会でスポーツmanshipを紹介する際、“ROOTS(根っこ)”という言葉を使って説明します。“ROOTS”はRule(規則)、Official(審判)、Opponent(対戦相手)、Team(チーム)、Self(自分自身)、5つの言葉の頭文字からなります。スポーツを構成するこの5つの要素に対して敬意を示す心構えを身につけてこそ、スポーツに参加する資格を得るので。よく体罰は愛情のある暴力なら許される！という方もおられますが、暴力は犯罪行為ですので、法律というルールを破っている時点で、(ルールを尊重する)ス

ポーツmanshipの価値を失っています。愛情があるから法律を破っていいということにはならないのです。スポーツは社会の一部です。スポーツをする上でそのルールを厳守するように、社会の一員としてスポーツに関わるものは社会のルールを守る義務があります。

来年2018年は韓国の平昌で冬季オリンピック・パラリンピックが開かれ、2019年には日本でラグビーワールドカップも開催されます。そして3年後はいよいよ東京で夏季オリンピック・パラリンピックが開催されます。またスポーツ庁が進めている大学スポーツ改革、所謂“日本版NCAA”も本格的に動き始めており、スポーツが社会に与える影響はどんどん高まっていきます。近年ロシアのドーピング問題がクローズアップされています。禁止薬物を使用して手にした金メダルには何の価値もないように、社会のルール(法律)に違反した暴力で強くなてもそれは何の価値もないのです。正しいスポーツ運営を実現するためには、指導者、選手、そしてスポーツに関わる全てのものが、日々の生活で継続してスポーツmanshipを育む実践を行うことが重要となります。

2020年東京五輪・パラリンピックにおいて、メダルの数が日本のスポーツのすばらしさを示すのではなく、正しく選手を導くために、日本のスポーツ界が暴力と決別し、正しい指導法を確立して、初めて世界に日本のスポーツの価値を示すことができるのです。

(つづく)

吉田良治さんプロフィール

1962年生まれ。1998年にワシントン大学へアメリカンフットボールコーチ留学。2000年リーグ制覇、2001年ローズボウルに出場し、ローズボウル制覇に貢献。国家レベルのリーダーシップ教育に貢献した、ランブライト元ワシントン大学ヘッドコーチよりリーダーシップ教育を学ぶ。

全米の大学で人格形成プログラム普及に貢献した、ライス元ジョージア工科大学体育局長よりライフスキル教育を学ぶ。

吉田良治さんBlog
<http://ameblo.jp/outside-the-box/>